



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校 便り

令和5年 7月学期末号

ヨハネスブルグ日本人学校

安全で楽しい冬休みを過ごしましょう!



本日、令和6年度、1学期終業式を無事に迎えることができました。

約3か月の期間でしたが、安全を第一に計画通りに実施することができました。子供たちの日々の健康管理を始め、ご理解、ご協力に感謝申し上げます。

昨年度は、ヨハネスブルグに、11年ぶりの雪が降るなど記録的な年となりましたが、この冬も少しずつ気温も高くなりつつあります。寒さに対応できる暖房設備が不十分ですが、衣服の調整等でしっかり寒さ対策を行い、風邪やインフルエンザ等での欠席が少なかったことは、うがいや手洗いの励行など、子供たち自身の健康に対する意識が高かったからだと感じます。ご家庭での健康管理のご協力にも感謝いたします。改めて子供たちの学校目標の一つである「たくましさ」も高まったといえるでしょう。

今学期は、「ふれあいウィーク」と「野外学習活動」を昨年度に引き続き、6月中旬に行いました。野外学習活動は、ヨハネスブルグから南の位置にある「ドラケンスバーグ」を目的地とし、寒さが心配されましたが、3日間とも好天に恵まれ、大自然にどっぷりと浸りながら予定した全ての活動を行うことができました。同じ日程で行ったふれあいウィークでは、制作活動やスケート体験を行いました。国内の学校に比べて、週の授業時数も多く、国際交流など校外に出かけての活動も多い中、小学部中学部の校種を越えた子供同士の様々な関係が強まり、お互いの良さを認め合えるなど、多くの成果が得られた場面が見られたことも大変うれしく思います。

1学期を振り返りますと、「ワンダーランド幼稚園」「オランダ子どもの家」との国際交流を行いました。交流相手の子供たちとペアやグループごとに日本の遊びを一緒に行うなど積極的に関わることができていました。お互いの違いを感じながら、相手を思いやる場面も多々見られました。何より普段学んでいる英会話を活かして、コミュニケーションを積極的に図ろうとする姿に多くの教員が感動していました。

冬季休業は、26日間ではありますが、「学校から一時的に離れ、休息とりフレッシュの機会であり、普段できにくい家庭や地域で学ぶ期間」です。時間的にも余裕のある冬休みだからこそ、読書に没頭したり、自然と触れ合ったり、何かを研究したり、作品を作ったり、苦手な教科を復習したりと、普段ではなかなかできない体験や学習にぜひ取り組んでほしいと思います。そして、「最後までやり切った。」という達成感をぜひ味わってほしいと願います。

健康に留意し、ご家族共々、よい冬季休業をぜひ過ごされることを祈っております。



★おいしい「カレー給食」を頂きました★



7月2日火曜日に、PTAの皆様によって、子供たちに「カレー給食」を振舞って頂きました。食材の購入だけでなく、事前の相談や前日からの仕込みなどの準備して頂きました。

子供たちは、何度もお代わりし、年に一度のおいしい給食を大に楽しみました。みんなで同じ献立の食事で会話も弾んでいました。

心温まる給食を本当にありがとうございました!